

官報

號外

明治二十九年一月二十九日 水曜日 內閣官報局

○第九回 貴族院議事速記録第九號

明治二十九年一月二十八日(火曜日)午前十時四十三分開議

議事日程 第九號 明治二十九年一月二十八日
午前十時開議

- 第一 請願委員長公爵二條基弘君報告
- 第二 明治二十八年勅令第九十二號承諾ヲ求ムルノ件
(政府提出衆議院送付) 會 議
- 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
官設鐵道用品資金增加法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
水產博覽會開設ニ關スル建議案(村田保君發議) 會 議
- 第十 復祿及復族祿ノ請願 會 議
- 第十一 郡替ノ請願 會 議
- 第十二 郡換ノ請願 會 議
- 第十三 信用組合法發布ノ請願 會 議
- 第十四 電信局設置ノ請願 會 議
- 第十五 電信局設置ノ請願 會 議

○副議長(侯爵黑田長成君) 蜂須賀議長ハ病氣ニ附キマシテ其全快ニ至リマ
スルマデ本員代理ヲ致シマス、昨二十七日日本院ニ於テ可決ニナリマシタル函
館港改修工事補助費ノ請願、三島町ヨリ下田町ニ至ル道路國道ニ編入ノ請
願、利尻禮文海底電線敷設ノ請願、復祿及復族祿ノ請願、庄内川改修ノ請願、
四國鐵道第一期線ニ線上下ノ請願、古社寺保存資金補助ノ請願ハ意見書ヲ附シ
マシテ即日政府ニ送付致シマシテゴザイマス、次ニ昨二十七日衆議院ヨリ國
債證券買入銷却法案及新聞紙法案ノ二ツノ政府提出案ヲ受領致シマシテゴザ
イマス、次ニ船舶検査法案外二件ノ特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ侯爵細
川護成君副委員長ニ箕作麟祥君當選ニナリマシテゴザイマス、去ル十八日公
爵近衛篤磨君ヨリ提出ニナリマシタル北海道鐵道敷設方針ニ關スル質問ニ對

シマシテ本日政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタルニ依ッテ書記官長ヲシテ朗讀
致サセマス

(中根書記官長朗讀) 本院議事速記録第六號四三頁參看

貴族院議員公爵近衛篤磨君ヨリ北海道鐵道布設方針ニ關スル質問ニ對シ內
務大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治二十九年一月二十八日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

內閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議員公爵近衛篤磨君提出北海道鐵道敷設方針ニ關スル件質問ニ對シ
別紙答辯書差進候也

明治二十九年一月二十三日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

內務大臣子爵野村靖

貴族院議員公爵近衛篤磨君提出北海道鐵道敷設方針ニ關スル件質問
ニ對スル答辯書

北海道ニ敷設スヘキ鐵道ニ關シテ政府カ執ル所ノ方針ハ第八回帝國議會ニ
於テ衆議院議員百萬梅治君ノ質問ニ對シテ答辯シタルカ如シ而シテ其ノ旭
川以東十勝釧路ヲ經テ厚岸ニ、旭川ヨリ宗谷ニ、奈與呂ヨリ網走ニ、小樽
ヨリ函館ニ至ル鐵道ノ如キニ就テハ二十九年年度豫算ニ於テ要求スル空知太
目論見ヲ定メ財政ノ都合ヲ計リ隨時要求スル見込ナリ
右及答辯候也

明治二十九年一月二十三日

內務大臣 子爵野村靖

○副議長(侯爵黑田長成君) 本日ノ議事ニ移リマス、請願委員長公爵二條基
弘君報告

(公爵二條基弘君演壇ニ登ル)

○公爵二條基弘君 昨日請願委員會ニ就イテ御報告ヲ申シテ置キマシタル事
ハ開會以來二十四日マデノコトデアリマシテ本日ハ二十四日ヨリ後ノ事ヲ御
報告致シマス、即チ二十四日以後請願委員會ニ於キマシテ受取リマシタル書
類ハ七十一通デアリマシタル、其他第三回文書表ニ掲ゲテ置キマシタル所ノ書
書ト云フモノハ未ダ審查ガ充分ニシテゴザイマセヌヲテ孰レ審查ノ後ニ文書
表ニ載セテ諸君ヘ御回付スル積デゴザイマス、此段御報告致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 次ニ明治二十八年勅令第九十二號承諾ヲ求ムルノ件政府提出衆議院送付會議ヲ開キマス、書記官ヲシテ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

衆議院ハ明治二十八年勅令第九十二號ヲ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年一月二十五日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條ニ依リ臨時陸軍軍法會議並其ノ管轄地内ニ於ケル陸軍刑法ノ適用ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十八年六月二十九日

内閣總理大臣	伯爵伊藤博文
大藏大臣	伯爵松方正義
海軍大臣	伯爵西鄉從道
陸軍大臣	伯爵大山巖
農商務大臣	子爵榎本武揚
逓信大臣	渡邊國武
司法大臣	芳川顯正
外務大臣臨時代理	
文部大臣	侯爵西園寺公望
文部大臣	侯爵西園寺公望
內務大臣	子爵野村靖

勅令第九十二號

第一條 戰時若クハ事變ニ際シ特設又ハ分駐セル陸軍軍衛若クハ陸軍團隊ニハ必要ニ應ジ臨時陸軍軍法會議ヲ設クルコトヲ得

事平定ノ後ト雖仍引續キ前項ノ軍衛又ハ團隊ヲ置クトキハ臨時陸軍軍法會議ヲ設クルコトヲ得

第二條 臨時陸軍軍法會議ノ管轄ハ特設軍衛又ハ分駐團隊ノ管轄若クハ守備地方ヲ以テ管轄トシ其ノ構成權限及治罪ニ關スル諸般ノ規定ハ本令ニ於テ特ニ定メタルモノヲ除ク外陸軍治罪法合圍ノ地ノ軍法會議ノ例ニ依ル

第三條 臨時陸軍軍法會議ハ管轄地内ニ在ル常人ノ犯罪及他ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スル者ノ犯罪ヲ審判スルコトヲ得但高等軍法會議ノ管轄ニ屬スルモノハ此ノ限ニアラス

第四條 臨時陸軍軍法會議ヲ設ケタル軍衛ノ長官若クハ團隊ノ長ノ其ノ軍法會議ニ關スル職權ハ陸軍治罪法第四條ノ長官ニ同シ其ノ副官及其ノ職務副官ト同シキ者ノ陸軍檢察ニ關スル職權ハ陸軍治罪法第三十一條ノ諸官ニ同シ

第五條 臨時陸軍軍法會議ノ管轄地内ニ於テ陸軍刑法第五十三條第五十四條第五十六條第五十七條第五十八條第五十九條第六十條第六十一條一揭タル所ノ罪ヲ犯ス者ハ軍人ニ非スト雖陸軍刑法ニ依テ處斷ス但其ノ豫備若クハ陰謀ニ止マル者ハ陸軍刑法第六十二條第六十三條ニ照シテ處斷ス

第六條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

(政府委員男爵兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 茲ニ事後承認ヲ求メマスル所ノ法律案ハ軍法會議ヲ臨時ニ設クルコトヲ得ルト云フ大體ノ法律案デゴザリマス、抑、軍法會議ハ陸軍治罪法ノ命ズル所ノ場所ヨリ外ニハ開クコトガ出來ナイコトニナツテ居リマス、然ルニ計ラズ昨年中占領地總督府並ニ威海衛杯ニ臨時ニ軍隊ヲ派出シマシテ是等ニ此軍法會議ヲ附ケテ置キマシテソコデ裁判ヲ判決サセマスルコトニ致シマセト其所屬ノ團隊ノ在ル所或ハ其人ノ屬スル所ノ管轄ノ軍法會議ヘ送付シナクテハナラヌト云フ不便ヲ感ジマシタデゴザリマス、ソレ故ニ昨年ノ七月ニ於キマシテ此法律ガ緊急勅令ヲシテ發布ニナリマシタ、然ルニ其事柄ハ今日現ニ存シテ居リマスルノハ威海衛杯デゴザリマス、是ガ唯今モ暫ノ間ハ今日ノナリデ繼續ヲシナクテハナルマイト考ヘマス、又一方ヨリ考ヘマスルト他日斯ノ如キ事體ガ再ビ生ジナイト云フコトモ計ラレマセヌ、ソレ等ヲ慮リマシテ昨年ノ七月ニ發布ニナリマシタ勅令第九十二號ヲ其儘法律トシテ暫ク現存ヲサスト云フタメニ茲ニ事後承認ヲ求メマス譯デゴザリマス、ドウゾ御贊成ヲ請ヒマス

○男爵小澤武雄君 一寸大體ニ就イテ質問ヲ致シマス、此臨時軍法會議ヲ置キマスルハ現ニ威海衛ニ於テ必要ガアルト云フ今ノ政府委員ノ説明デゴザリマスガ臺灣及朝鮮杯ニハ今日置イテハナイノデスカ、サウ云フ必要ハナイノデアリマスカ、ソレヲ承リタイ

(政府委員男爵兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 御答ヲ申シマス、朝鮮ニハ現在置イテゴザイマセヌ、ソレカラ臺灣ニハ……何レハ臺灣ノ總テノ組織ハ定リマスル時分ニ或ハ治罪法ニ改正ヲ加ヘテ軍法會議ヲ置キマスルカ致サヌニヤナラヌト考ヘマスルガ唯今ノ所デハ矢張此臨時軍法會議ノ組織ヲ開イテ居リマスル

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發議ガゴザイマセネバ本案ノ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵山口弘達君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ御選定アラント望ミマ

○子爵林友幸君 贊成
○副議長(侯爵黑田長成君) 山口子爵ノ特別委員ノ選舉ハ議長ニ一任スルト云フ勸議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、次ニ理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年一月二十五日
衆議院議長楠木正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案
理事豫備トナリ若クハ退職トナリタルトキハ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ニ於テ退官者ト同視シ其ノ豫備ニ在ル者戰時若クハ事變ニ際シ現職ニ復シタルトキハ再ヒ任官シタルモノト同視ス

(政府委員男爵兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 茲ニ提出ニナリマシタ所ノ法律案ハ陸軍理事ノ恩給法デゴザイマス、是ハ唯今マデ理事ト申シマスル者ハ普通ノ文官デゴザイマシタニ依テ官吏恩給法ノ制裁ニ依テ恩給ヲ受ケテ居リマス、然ルニ昨年中理事ハ勅令ニ依テ終身官ト爲リマシテ其タメニ豫備若クハ退職ト云フヤウナ事柄ガ設ケラレマシタ、然ルニ其恩給法ハ矢張官吏ノ恩給法ニ依ラナクテハナリマセヌガ官吏ノ恩給法ニ於キマスル總テ豫備或ハ退職ト云フヤウナコトガゴザイマセヌタメニ直ニ退官ニ當ル、其退官ト云フ文字ニ當リマスノデゴザイマス、然ルニ此豫備若クハ退職ト申シマスルモノハ官ハ依然ト持テ居リマスルデ退官ト云フ文字ニ是ガ適當致シマセヌ、ソレ故ニ此豫備若クハ退職ト爲タ者ハ官吏恩給法ノ退官ト云フ所ニ當ル、且ツ其豫備ト爲リマシタ者ガ戰時若クハ事變ニ際シテ召集セラレテ矢張現役ニ就クノデゴザイマス、其現役ニ就イタ者ハ現役ノ者同様にシテ恩給ハ扱テヤラニヤナリマセヌカラソレガタメニ此法律ヲ要シマスル譯デゴザイマス、ドウゾ御協賛ヲ請ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ本案ノ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵堤功長君 本案ノ特別委員ノ選舉ハ議長ニ於テ選定アラントヲ希望致シマス

○子爵稻垣太祥君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 堤子爵ノ本案ノ特別委員ノ選舉ハ議長ニ委託スルト云フ勸議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数ト認メマス、次ニ官設鐵道用品資金増加法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

官設鐵道用品資金増加法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年一月二十五日
衆議院議長楠木正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

官設鐵道用品資金増加法律案

明治二十九年一度ニ於テ官設鐵道用品資金ニ金二十五萬圓ヲ増加ス

(國務大臣白根專一君演壇ニ登ル)

○國務大臣(白根專一君) 此法案ノ趣旨モ法文モ極テ簡單デアリマス、從ヒマシテ理由モ亦簡單デアリマス、唯現行法ニ於キマシテハ百八十萬圓ヲ以テ此資金ヲ限定致シテアリマスルガ如何セン鐵道業ノ繁盛ト建築ノ許多ナルトニ依リマシテ彼ノ需用スル所ノ材料諸物品共前年ノ比デアリマセヌ、年ニ月ニ増加ヲ致シマスル、之ニ應ジマスル此鐵道用品ノ資金ガ何分現今制定シテアル百八十萬圓デハ不足ヲ告ゲマスル、故ニ是ニ二十五萬圓ヲ増シマシテ宜シク彼ノ需メニ應ジマシテコチカラ供給スルニ差支ナイ所ノ程度ニ至ラシムルト云フノガ此法案ノ趣旨デアリマス、又此増加金ノミデハ到底充分ニ供給ガ出來ルヤ否ヤト云フ點ニ附イテハマダ充分ナリトハ認メルコトハ出來マセヌ、是ハ次ノ日程ニ於キマシテ聊カ陳述ヲ致シマスルカラ先ヅ茲ニ止メマシテ置キマスル、宜シク御協賛アラントヲ望ミマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 他ニ御發言ガゴザイマセネバ本案ノ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵西五辻文伸君 本案ノ特別委員ノ選舉モ矢張議長ニ御委任ヲ致シタ

○男爵中川興長君 西五辻男爵ニ贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 西五辻男爵ノ本案ノ特別委員ノ選舉ハ議長ニ一任スルト云フ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半數デゴザイマス、次ニ官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年一月二十五日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵須賀茂昭殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス)

官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案

官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金會計ヨリ買入ル、トキ前金拂並ニ概算渡ヲ爲スコトヲ得

(國務大臣白根專一君演壇ニ登ル)

○國務大臣(白根專一君) 此法案ハ前ノ法案ト關聯ヲ致シテ居ルモノデアリマシテ前ノ法案ニ於キマシテ二十五萬圓ノ資金ヲ増加致シマスレバソレニテ事足ルヤウデアリマスルガ今日ノ鐵道ノ營業ト云ヒ建築ト云ヒ實ニ繁盛許多ノ場合デアリマスルカラナカク、以テ前ノ二十五萬圓デ以テ宜シク經濟ヲ圓滑ニ持ッテ行クト云フコトハ出來兼マスル、サリナガラ斯ノ如キ金額ヲ餘リ増額致シテ置キマスルノハ矢ッ張不經濟デアリマスルカラ一ノ良法ヲ見出シマシテ即チ此法案ヲ編制致シタ譯デアリマスル、此法案ハ前金拂概算渡シト云フコトガ出來ルト云フコトニ致シマシテ建築部、營業部ニ金ヲ先ヅ出サセ或ハ概算ヲ渡サシテサウシテ資金ノ方ヲ流用シテ圓滑ナラシメ又材料諸物品モ差支ナク供給ノナルト云フコトノ途ヲ開クト云フコトニ止ル譯デゴザイマス、是亦簡單ナル理由デゴザイマシテ宜シク御協賛ヲ願ヒマス

○子爵小笠原壽長君 議長

○副議長(侯爵黑田長成君) 小笠原子爵

○子爵小笠原壽長君 先ッ……今ノハ少シ間違ヒマシタカラ止メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案ノ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵中川與長君 本案ノ特別委員ハ前ノ官設鐵道用品資金增加法律案ノ委

員ト同一ノ委員ニ付託アラント望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者多シ)

○子爵小笠原壽長君 實ハ本員モツレヲ申シマス積デアリマシタガ早ク立チマシタモノデスカラ……

○副議長(侯爵黑田長成君) 中川男爵ノ本案ノ特別委員ノ選舉ハ前案ト同一ノ委員ニ付託スルト云フ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半數デゴザイマス、次ニ水產博覽會開設ニ關スル建議案、村田保君發議、會議ヲ開キマス、一應書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

水產博覽會開設ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治二十九年一月二十七日

發議者

村田保

贊成者

公爵二條基弘

外六十七名

貴族院議長侯爵須賀茂昭殿

水產博覽會開設ニ關スル建議

水產事業ノ幼稚ナル之カ獎勵ヲ要スルノ事項極メテ多シト雖一般ノ智識ヲ啓發シ事業改善ノ基礎ヲ立ツルヨリ急ナルハナシ而シテ一般ノ智識ヲ啓發セントスルニハ博覽會ヲ開設スルヲ以テ最好手段トス曩ニ政府ハ玆ニ見ル所アリ明治十六年ニ於テ水產博覽會ヲ東京ニ開設シ以テ水產事業ノ振興ヲ圖レリ爾來十有餘年我邦水產業ノ漸ク進歩改善ニ赴ケルハ此會ノ效果タルモノ少シトセス今ヤ第二回水產博覽會ヲ開キ更ニ將來ノ改善ヲ圖ルハ必要ノ政務タルヘキカ故ニ適當ノ費額ヲ支出シ速ニ水產博覽會ヲ開設シ以テ水產業ノ發達ヲ圖ラレンコトヲ企望ス

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 本員ヨリ此建議案ヲ提出致シマシタ趣旨ハ大略理由書ニ掲ゲテゴザイマスルガ御存知ノ通本邦ハ四圍皆海ヲ以テ環ラシテ居リマス國デ、殊ニ水產ニ富ンデ居リマスコトハ殆ド世界各國無比ノ所デゴザイマス、然ルニ我此水產業ハ他ノ産業ニ比シマスルト云フト最モ幼稚デゴザイマシテ甚ダ振ッテ居リマセヌ、本員杯ノ甚ダ歎息致シマスル所デゴザイマス、其幼稚ナル所ノ原因ハ種々ゴザイマセウガ、就中我漁業者ノ智識ガ啓ケテ居ナイト云フコトガ一ノ原因ダラウト存ジマス、ソレデ此智識ヲ啓キマスルニハ種々獎

勵等ノ途モゴザイマスルケレドモ就中此水産博覽會ト云フモノヲ開キマシテ智識ヲ啓キマスルノガ是マデノ經驗上最モ宜キ獎勵ダト存ジマス、本邦ニ於キマシテハ明治十六年ニ始テ水産博覽會ト云フモノヲ設ケマシテ其後今日マデ第二回ノ水産博覽會ト云フモノハ開ケテ居リマセヌ、尤モ其間ニハ共進會ハゴザイマシタケレドモ共進會ト云フモノハ製造品ノ出品ニ限リマシテ一般ニ及ビマセヌ、又昨年京都勸業博覽會ガゴザイマシタガ水産ノ部ハ殊ニ場所ガ狹隘デゴザイマスシ又出品ニ制限等ガゴザイマスカラ悉ク網羅スルコトガ出来マセヌ、シカノミナリマセヌ、此水産ト云フモノハ一種特別ノモノデゴザイマシテ外國デモ萬國水産博覽會ヲ開クトカ或ハ内國水産博覽會ヲ開イテサウシテ獎勵スル、殊ニ獨逸國ハ御存知ノ通至ッテ海ノ少イ國デゴザイマスケレドモ先年獨逸ニ於キマシテハ萬國水産博覽會ヲ開キ今又内國水産博覽會ヲ開クト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此本邦ニ於キマシテハ十六年ニ水産博覽會ヲ開キマシタ後其結果ト云フモノハ實ニ此日本ノ水産業ガ漸々進歩シ段々改善ニ赴キマスルト申スモノハ全ク此十六年ノ博覽會ノ結果ダラウト存ズル、其後ト申シマスルモノハ漁業ニ致セ製造ニ致セ或ハ漁具漁船ノ改良等モ著々進ンデ居リマス、殊ニ海外輸出額ト申シマスルモノハ著シク増加シテ居リマス、併ナガラ未ダ他ノ農産業ニ比シテ見マスルモノハ一種ニモ及ンデ居リマセヌ、是等ハ甚ダ本員杯ノ遺憾ト存ジマスル所、ソレデ是等ヲ考ヘマスルノニ全クドウモ未ダ本邦ノ漁業ト申シマスモノ、拙ナル事、製造ノ不完全ナル事ガ往々有ルダラウト存ジマス、本員杯ハ丁度二十三年頃ヨリ致シマシテ諸所日本ノ海岸ヲ歩キマシテ親シク此實業者ノ有様ヲ見マスルト漁業或ハ製造ノ事ニ就イテ段々見マスルト或地方ニ於キマシテハ段々船ヲ改良スルトカ改良船ヲ造ッテ數十里ノ沖ニ出テ遠洋漁業ヲスルトカ云フ地方モ有リ又或ハ他ノ地方ニ往ッテ見マスルト唯沿岸ノ漁業ニ力ヲ盡シテサウ云フ船ヲ改良シタコトモ一向知ラヌデ居ル、或ハ漁具ニ致シマシテモ他ノ地方デハ網ヲ改良シテ大ナル漁獲ガアルノニ他ノ地方ハ一向従前ノ儘デ年々不漁ヲ唱ヘテ網ノ改良モ一向知ラヌ、又製造モ其通或地方デハ製造ノ改良モ出来マシタガ他ノ地方デハ一向製造ノ改良モセヌデ、改良シタ地方ヨリ半額モ得ラレナイ所モゴザイマス、又甚シイ所ニナリマス捕ルコトモ知ラナケレバ製造スルコトモ知ラヌト云フ有様ガアル、誠ニ大切ナル水産物ヲ海底ニ唯捨テテ居ル所モ中ニハゴザイマス、サウ云フ今日ノ有様デゴザイマスカラ茲デ第二回ノ水産博覽會ヲ開キマシテ普ク水産ニ關リマスモノヲバ出サセテ互ニ智識ヲ交換サセルト云フコトヲ致シマシタラ餘程此水産上ニ長足ノ進歩ヲ來スデアラウト云フコトヲ本員杯ハ信ジテ居リマス、又此第二回水産博覽會ヲ開キマシタルト云フコトハ今日デハ殆ド我水産業者ガ熱望スル所デ、既ニ昨年大日本水産會ガ京都ニ於テ水産大會ヲ開キマシタ其時分ニモ全國カラ漁業者等モ出テ參リマシテ第二回水産博覽會ヲ是非設ケタイト云フコトノ建議ヲシテ欲シイト云フ決議ヲ致シマシタ、其後水産調査會ニ於キマシテモ同様ノ決議

ヲ致シマシテ何レモ農商務大臣ニ提出致シマシタヤウナ譯、ソレデ今日デハ水産業者ハ第二回水産博覽會ヲ希望シマスルコトハ先ヅ輿論ト云ッテモ宜イ位ダト存ジマス、サウシテ此案ニハ入費ノ事ト場所ノ事ト期日ノ事ハ掲ゲテ置キマセヌデゴザイマスガ、是ハ政府ノ都合モアルダラウト存ジマス且ツ行政上ノ事デゴザイマスカラ敢テ茲ニ掲ゲヌ方ガ宜シカラウト存ジテ控ヘマシタ、實ハ私ニ於キマシテハ少シク考モゴザイマスガ餘リ議院カラサウ云フコトニマデ立入ラヌ方ガ宜シカラウト存ジテ掲ゲマセヌ、ソレデ他ニ御質問等モゴザイマスレバ又ソレニ對シテ御答致シマス、先ヅ大體唯今述ベマシタ通ノ趣意デゴザイマシテ今日水産ノ發達ヲ圖ルニハ第二回水産博覽會ヲ開クノガ最モ必要ト存ジテ提出致シマシタ譯デゴザイマス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

○田中芳男君 唯今發議者カラ詳シク御辯明ガゴザイマシテ大抵分リマシタガ本員ハ固ヨリ贊成者ノ一人デゴザイマスカラ決シテ不同意ガマシイコトヲ申スノデハアリマセヌ、心得ノタメ伺ッテ置キタイコトガゴザイマス、定メテ此議ガ提出ニナリマシタナラバ追加豫算ガ出マセウカラ其時唯今ノ御辯明中ニゴザイマシタ場所ナリ日限ナリ其他ノ方法ヲ議定ナサルコト、思ヒマスケレドモ今日マデ博覽會ト云フヤウナ名義デ品物ヲ出シマスルノニ多クハ地方ヨリ出シマスル者ハ此品物ヲ博覽會ニ陳列シテ褒美ヲ取ッテ其上旨ク行ッたら人ニ買ッテ貰ヒタイト云フノガ普通ノ念慮デゴザイマス、併ナガラ漁具漁船竝ニ漁網ノ如キモノヲ出品セントスレバ非常ニ入費ガ掛ッタ上ニ賣ルコトガ出来ヌコトニナル、サウスルト折角此方デ出シテ貰ヒタイト云ッテモ地方ノ人民ハ出スコトハ出来ナイデ此方ノ望ノ通ニ行カナイコトガアルカモ知レナイ、折角斯様ナ考案ガ立チマシタ上ハ其邊ノ所ハ何トカ御考ガアッテ是非共此方カラ獎勵シテ出サセナケレバナラヌ、即チ豫メ資金ヲ貸與スルトカ或ハ補助スルトカ何トカ致ス方法ヲ極メマセヌデハ折角目論シタ通ノ品物ガ出ズ所謂昨年ノ博覽會ニ各地方カラ出タト殆ド同様ノ轍ニナリハセヌカト本員ハ考ヘマス、定メテ發議者杯ハ其邊ハドウ云フ風ニシタラ宜カラウト云フヤウナ御考モアリ、ソレヲ追加豫算デモ出マシタ時ハ精シク提供ヲナサルコト、ハ思ヒマスケレドモ今其邊ノ思召ガ極ッテ居リマスレバ心得ノタメニ伺ッテ置キタウゴザイマス

○村田保君 田中君ニ御答ヲ致シマスガ成程田中君ノ仰シタル所ハ御尤ノコトデ本員杯モ久シク考ヘテ居リマスノデゴザイマス、此漁船ノ雛形トカ或ハ圖ヲ出サセルトカ云フコトハナカク費用ニ堪ヘラレナイ、出シタイト思ッテモナカク出サレヌト云フノガ今日ノ事情ニナッテ居リマス、ソレデ本員杯ノ考ヘマスルノニ到底是ハ先ヅ運搬費ヲ持ッテヤルトカ或ハ製造ニ就イテドレマデノ所ノモノヲ拵ヘルトカ、ドノ位ノ補助ヲシテヤルトカ云フコトガゴザイマセヌデハ到底普ク漁具ノ雛形ニシロ漁船ノ雛形ニシロ出サセルコトハムヅカシカラウト思ヒマス、併ナガラ是ハ政府ノ豫算ノ組方デゴザイマスカ

ラ何レ政府ニ於テ其邊ハ豫メ心得テ出スコトデアラウト存ジマス、ツレト期日ノ事ハ唯今申シマセヌガ、本員杯ノ考ヘマスルノニ速モ今追加豫算デ當年出スト云フコトハムツカシイト思ヒマス、何レ政府デモ熟考ノアルコトダラウト思ヒマス、早クモ明治三十一年アタリデナケレバ開ケルコトニ往クマイト存ジマス、其ダケヲ御參考マデニ御答致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 本建議書ニ就キマシテ別段御發議ハゴザイマセヌカ、

(發議者ナシ)
別ニ御發議ガゴザイマセヌニ依ッテ本建議案ニ就イテ決ヲ採リマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数デゴザイマス、次ニ復祿及復族祿ノ請願會議ヲ開キマス

○公費二條基弘君 此請願委員會ノ意見書ニ附キマシテハモウ諸君モ皆御熟讀ニナッテ居ラル、コトデゴザイマシテ、其大要ハ皆御承知ノコトデアリマスカラシテ別段一々是カラ此意見書ニ附キマシテハ本員ハ説明ハ致シマセヌ心得デゴザイマス、デ御質問等ガアレバ無論御答ハ致シマスケレドモ其他ハ致シマセヌト云フハ即チ此第八議會ニ於テ先例ガゴザイマスカラ其先例ニ依リマス、ツレデ此所ニ正誤ヲ致シマス所ハ六頁ノ十一、復祿及復族祿ノ小林廣吉ハ廣治ノ誤、第十三ノ森越福太郎外四名ハ外十七名ノ誤デ、是ダケ正誤ノコトヲ申上ゲテ置キマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此請願ノ會議ニ附キマシテハ一々朗讀ヲ致スコトハ省略ヲ致シマス積デゴザイマス

(左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

意見書案

復祿及復族祿ノ件

- 一 三重縣一志郡久居町士族柳生勇磨外百六十二名呈出
- 二 廣島縣佐伯郡嚴島町平民山崎利三郎外三十二名呈出
- 三 同縣同郡同町士族飯田篤之助外十九名呈出
- 四 高知縣土佐郡潮江村平民佐々木一郎外百二十七名呈出(二通)
- 五 鳥取縣邑美郡富桑村士族稻村久六外二百九十四名呈出
- 六 兵庫縣揖東郡林田村平民藤井庄五郎外八十四名呈出
- 七 石川縣金澤市油車平民石川久三外七百九十九名呈出
- 八 愛媛縣周布郡多賀村士族飯尾將維呈出
- 九 兵庫縣揖西郡平井村平民伊藤儀三郎外十二名呈出
- 十 同縣飾東郡四鄉村士族菅原九十郎外三百十八名呈出(三通)
- 十一 同縣赤穂郡赤穂町平民小林廣吉外六十名呈出

- 十二 同縣揖西郡龍野町平民森田桂藏外百六十三名呈出(二通)
- 十三 青森縣三戸郡八戸町平民森越福太郎外四名呈出
- 十四 同縣同郡同町平民青木元次郎外四名呈出
- 十五 秋田縣雄勝郡明治村士族上法篤晃呈出

右ノ請願ハ陳述スル所各、多少ノ差異アルモ要スルニ第一ハ舊藩ニ於テ知事以下士卒祿高ニ分賦シ藩債消却ノ方法ヲ立テシカ明治五年ニ至リ免除ノ令アリ舊知事ハ其ノ定額ニ復セルモ請願人等ハ遂ニ之ヲ復セラレス故ニ其ノ控除額ニ對スル公債證書ノ下付ヲ請願シ、第二ハ世襲ノ神官ナリシカ明治四年其ノ職祿ヲ廢止セラル然レニ他ノ同等ノ者ハ士族ニ編入家祿ヲ給セラレ獨リ請願人等ノミ未タ恩命ヲ蒙ラサルヲ以テ其ノ族祿ヲ復舊セラレムコトヲ請願シ、第三ハ舊神官ニシテ世祿ヲ享ケシニ明治四年其ノ職祿ヲ廢止セラレ八年ニ至リ士族ニ編入セラレタルモ家祿ヲ給セラレス故ニ族ニ伴フ所ノ家祿ヲ復給セラレムコトヲ請願シ、第四ハ舊藩主ニ仕ヘ或ハ藩士ノ家臣タリシ者ニシテ之ヲ他例ニ照セハ士族ニ編入セラルヘキニ明治四年民籍ニ降サレタリ是レ全ク當路者ノ錯誤ニ出ツルモノナレハ當時ノ事情ヲ查察シ其ノ族ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第五ハ曩ニ下賜セラレタル金祿公債證書石代乘率ヲ以テ當時ノ米價ニ比スレハ實ニ四圓餘ノ差アリ爲メニ其ノ定祿ヲ削減セラレタルモノナレハ之ヲ訂正シ其ノ不足額ヲ追給セラレムコトヲ請願シ、第六ハ舊藩世襲ノ卒ニシテ士族ニ編入家祿ヲ給セラレヘキ者ナルニ藩政改革ノ際其ノ族祿ヲ併セ失ヘリ故ニ之ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第七ハ舊藩仲間小者小人等ニシテ士族ニ列シ家祿ヲ享クヘキ者ナルニ舊藩廳ノ錯誤ニ由リ民籍ニ降シ祿ヲ沒收セラレ故ニ士族ニ編入シ家祿ヲ追給セラレムコトヲ請願シ、第八ハ舊藩世襲ノ士分ナリシニ藩制改革ノ際當局參事ノ專擅ニ依リ故ナクシテ解放セラレタリシカ客年復族ノ恩命ヲ蒙リタルヲ以テ之ニ伴フ所ノ家祿ヲモ復給セラレムコトヲ請願シ、第九ハ舊藩世襲ノ卒ナリシニ明治二年歸農ヲ命セラレ爲メニ其ノ族祿ヲ失ヒ不幸ノ境遇ニ陷レリ故ニ士族ニ編入シ家祿ヲ復給セラレムコトヲ請願シ、第十ハ舊藩世襲ノ士ナリシニ明治四年民籍ニ降サレタリシカ十四年乃至二十年ノ間ニ於テ士族ニ復セラレ然レニ未タ復祿ノ恩命ニ接セサルヲ以テ族ニ伴フ所ノ家祿ヲ復給セラレムコトヲ請願シ、第十一ハ舊藩長柄組ナリシニ藩政改革ノ際其族祿ヲ併セ失ヘリ故ニ之ヲ他例ニ照シ復族祿ノ恩典ヲ蒙ラムコトヲ請願シ、第十二ハ舊藩世襲ノ卒ニシテ士族ニ列シ永世祿ヲ給セラレヘキ者ナルニ明治四年其ノ族祿ヲ併セ失ヘリ故ニ之ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第十三ハ舊藩常番組及職人取締ニシテ世祿ヲ食ミシ者ナルニ廢藩ノ際其ノ族祿ヲ廢除セラレ故ニ士族ニ編入シ代祿ノ金圓ヲ下賜セラレムコトヲ請願シ、第十五ハ舊藩ノ修驗ニシテ士分ノ取扱ヲ受ケ家祿ヲ給セラレシ者ナルニ後縣廳ヨリ祿制改革ニ至ル迄給祿ヲ停ムヘキノ命アリ遂ニ之ヲ給セラレス故ニ其ノ祿ヲ復セラレムコトヲ請願スルモノニシテ貴族院

ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊十九通及送付候也

明治二十九年一月 日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

○副議長(侯爵黑田長成君) 此意見書案ニ就キマシテハ別段御異議ナシト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ郡替ノ請願會議ヲ開キマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 然ラバ御異議ナシト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ郡替ノ請願會議ヲ開キマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

意見書案

郡替ノ件

靜岡縣賀茂郡上大見村平民土屋文平外三十八名呈出

右ノ請願ハ賀茂郡ノ地勢北ハ熱海町ニ起リ南松崎村ニ至ル里程二十五里山ヲ負ヒ海ニ面シ對島村以南ハ道路最モ峻嶮不便ヲ極ム而シテ賀茂郡賀茂役所ノ所在地タル下田町ヲ距ル遠キハ二十里近キモ十里ニ下ラス且ツ中央天城ノ高山アリテ地勢自ラ南北ニ分割シ北端三島町ヲ以テ國道ニ接ス是ヲ以テ熱海町外九箇村ハ北部田方郡ニ屬スヘク隨テ殖産振興ノ法交通及社交上ノ關係人情ノ親染等亦田方郡ニ密ニシテ對島以南ノ賀茂郡ニハ却テ疎ナリトス故ニ賀茂郡ヲ離レ更ニ田方郡ニ編入セラルハニ至ラハ其郡衙所在ノ三島町ヲ距ル遠キモ十里ヲ出テス且ツ道路ノ平坦ナル彼ノ下田町ニ至ルノ比ニ非ス依テ郡替ノ上共同ノ便益ト地方ノ福祉ヲ發達シ自治ノ完成ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年一月 日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔發議者ナシ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御異議ナシト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ郡換ノ請願會議ヲ開キマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

意見書案

郡換ノ件

枋木縣足利郡富田村平民島田太郎吉外百九十七名呈出
右ノ請願ハ枋木縣足利郡富田村ハ郡ノ最東部ニ位シ其ノ稻岡寺岡西場ノ三

字ハ又本村ノ最東部ニ在リ地勢山脈連互シテ中央ヲ遮斷シ三字ハ脈東ニ在リテ全ク別部落ヲ成シ且東南北ノ三面ハ平坦ニシテ安蘇郡ニ突入スルヲ以テ民情又隣郡ニ親染シ却テ同村ノ字多田木迫間奥戸等ニ疎隔ナルモノ、如シ故ニ該三字ノ人民ハ從來ノ關係現在ノ情勢將來ノ利害等ヨリシテ安蘇郡ニ編入セラレムコトヲ望ムヤ固ヨリ久シ曩ニ縣廳ニ向フテ再三出願スルモ未タ何等ノ指令ヲ得サルヲ以テ第一回帝國議會以來數ニ請願スル所以ニシテ其希望一朝一夕ニ非サレハ速ニ郡換ノ處分ヲ請フトノ旨趣ニシテ貴族院ニ於テハ第一回第四回第五回第八回ニ於テ之ヲ採擇スヘキモノト議決シ之ヲ送付セシメ今又同一意ノ請願ヲ爲セリ貴族院ハ又願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年一月 日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔發議者ナシ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 是モ御異議ナシト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ信用組合法發布ノ請願會議ヲ開キマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

意見書案

信用組合法發布ノ件

新潟縣中蒲原郡五泉町平民水野禎三呈出

右ノ請願ハ經濟上ニ於テ信用ヲ利用スルノ有益ナル復辯ヲ須タス今ヤ我國信用ノ制大ニ發達シ一鄉一郡ノ農工商ニ至ルマテ之レカ連鎖ヲ以テ互ニ相關聯スルノ有様トナレリ加フルニ各國立銀行營業滿期近キニアレハ之レカ善後ノ策ヲ講スルニ豫メ信用制度ノ擴張ヲ圖ルハ最モ必要ナリ又外國貿易品ノ如キハ實際賣捌ノ見込判然タラサル前ニ當リ關稅ヲ納付セサルヘカラサルノ困難アレハ此等ノ不便ヲ避クル爲共同倉庫ノ類ヲ設ケ貨物預所トナシ之ニ對シテ預證書ヲ發行シ其ノ信用ヲ利用セシムルハ亦大ナル利益ナリ而シテ現行ノ銀行制度ハ商工業者ノ金融ヲ利スルニ足ルモ農業者ハ概ネ其ノ利益ヲ受クルコトナク殊ニ其ノ細民ニ至テハ肥料其ノ他農事改良ニ必要ナル資本器具ヲ得ルノ途ナク空シク舊套ヲ守ルノミ此ノ如キハ農業ヲ振起シ其ノ發達ヲ圖ルノ道ナラムヤ故ニ此ノ缺點ヲ補フハ信用組合法ノ制定ニ如クモノナシ蓋シ細民ヲシテ低利ノ資金ヲ得セシムルノ道ハ各自團結シ組合ヲ組織シ連帶ノ責任ヲ以テ債主ノ信用ヲ厚クスルニアリ今ヤ外國威ヲ四海ニ發揚シ正ニ萬邦ト併立スヘキノ際ニ際シ之レカ規定ナキハ頗ル遺憾トスル所ナルヲ以テ速ニ其ノ制定發布ヲ望ムトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送

付候也

明治二十九年一月 日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔發議者ナシ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 是モ御異議ナイモノト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ電信局設置ノ請願會議ヲ開キマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

意見書案

電信局設置ノ件

愛媛縣喜多郡長濱町平民西村金太郎外十二名呈出
右ノ請願ハ長濱町ハ愛媛縣屈指ノ町村ニシテ外面海上ニ對シ汽船及諸船舶ノ出入日々頻繁内面ハ常ニ舟楫ノ便アル肱川ノ在ルアリ爲メニ輸出入ノ諸產物ノ數量價格頗ル夥シク南豫ノ一大關門ヲ爲スト云モ謬言ニ非ス然ルニ未タ電信局ノ設ナキヲ以テ其ノ不便甚シク大洲電信局ニ依ラムトスルモ四里餘ヲ隔テ機敏ヲ主トシ瞬時ヲ爭フ商業上ノ事ヨリ人事上緊急ノ要件航海者ノ注意ヲ要スル氣象報ニ至ル迄事々遲緩ニ失シ地方ノ盛衰事業ノ消長ニ關スル洵ニ至大ナレハ速ニ電信局ヲ設置シ從來ノ憂患ヲ除去セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年一月 日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔發議者ナシ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 是モ御異議ナシト認メマシテ原案ニ決シマス、……先刻本席ニ御委託ニナリマシタル特別委員即チ明治二十八年勅令第九十二號承諾ヲ求ムルノ件外三案ノ特別委員ヲ本席ニ於テ選定致シマシタニ依テ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

〔中根書記官朗讀〕

明治二十八年勅令第九十二號承諾ヲ求ムルノ件特別委員

公爵二條基弘君

伯爵冷泉爲紀君

子爵大河内正實君

男爵神山郡廉君

原田一道君

男爵小澤武雄君

南郷茂光君

馬屋原彰君

兒玉淳一郎君

理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案特別委員

侯爵松平康莊君

伯爵中川久成君

子爵林友幸君

子爵曾我祐準君

永山盛輝君

渡正元君

森山茂君

山脇玄君

吉田三右衛門君

官設鐵道用品資金増加法律案外一件特別委員

侯爵久我通久君

子爵岡部長職君

子爵堀田正業君

子爵小笠原壽長君

郷純造君

中島永元君

長谷川貞雄君

平山成信君

鹿毛信盛君

○副議長(侯爵黒田長成君) 明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一、紫垣伴三君請願ノ件、第二、明治二十八年度歳入歳出總豫算追加案(甲)、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告、第三、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告、第四、明治二十八年度歳入歳出總豫算追加案(乙)、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告、第五、明治二十八年度歳入歳出總豫算追加案(丁)、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告、本日ハ散會
午前十一時三十一分散會